

参加ITC組織の活動概要と 金融機関との連携状況

- 1 沿革
- 2 活動内容
- 3 H18_金融機関との連携状況

ITCやまぐち協同組合 (ITC
Y)

1 沿 革

設 立：平成14年9月

組合員数：16名

ITC資格に加え、税理士、中小企業診断士、情報処理技術者、
ISO・プライマーク審査員など多彩なメンバーで構成

所 在 地：〒755-0044

宇部市新町12-1（株式会社 常盤商会内）

代 表 者：石田 豊 事務局代表者：植村 育夫

連 絡 先：TEL 0836-32-2377 FAX 0836-32-2328

URL：<http://www.siy.co.jp/itc/>

E-Mail：itcy-info@siy.co.jp

2 活動内容

平成17年度

IT経営応援隊関連事業

- ・ 観光フォーラム：越後湯沢温泉組合事例紹介他 3 回
- ・ 経営成熟度診断： 8 社

経営者研修会 山口銀行、西京銀行 他

個別企業コンサルティング 専門家派遣等

平成18年度計画

IT経営応援隊関連事業

- ・ 運輸業、観光業 IT利活用セミナー
- ・ 経営成熟度診断： 5 社

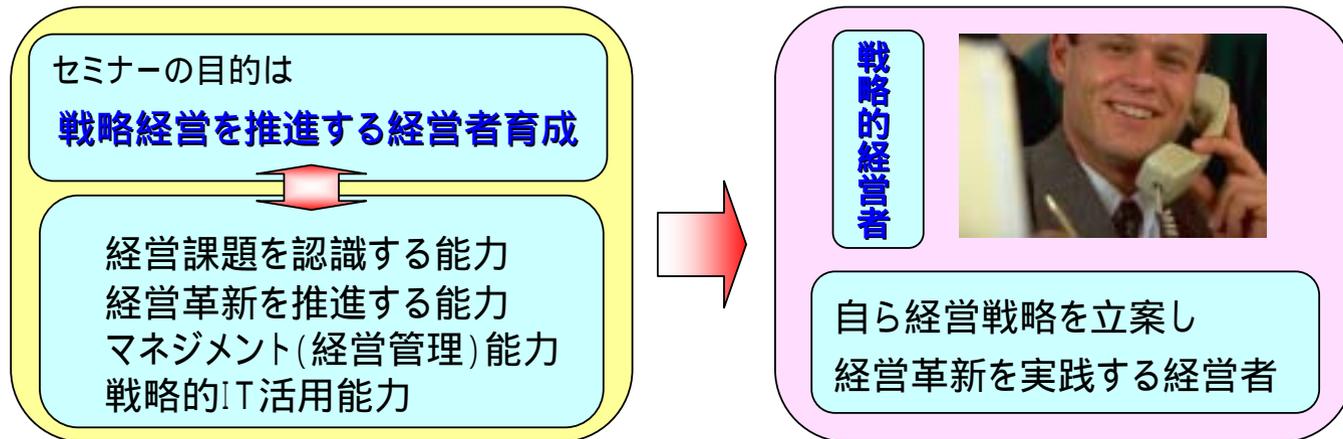
経営者研修会 金融機関連携

個別企業コンサルティング 山口発モデル企業の輩出

組合員研修会
毎月1回

3-1 H18_金融機関との連携状況

《経営革新と業務改革を考え実践するセミナー》



主催: やまぐちIT経営応援隊(山口県他)

後援: ちゅうごくIT経営応援隊、中国経済産業局

協力: 中小企業金融公庫下関支店



平成18年5月29日

ITコーディネータやまぐち協同組合

3-2 H18_金融機関との連携状況

中小公庫下関支店「経営革新セミナー」の概要

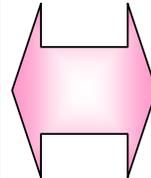
- 実施時期 平成18年7月14日10時～15日16時まで(1泊2日)
(会場:山口県セミナーパーク)
平成18年7月29日13時～18時まで
(会場:新山口駅周辺ホテル)
- 参加予定者数 20社(25名程度)
- セミナー内容 1日目:支店長挨拶、SWOT分析と経営革新テーマ選定
2日目:経営戦略企画書、IT戦略企画書作成
3日目:自社の経営戦略、IT戦略の発表
(3日目終了後懇親会開催)
- 受講者参加費 5,000円(教材費、コーヒー代)

**セミナー終了後、専門家派遣等を活用し3社
人材育成等個別コンサル2社**

3-3 H18_金融機関との連携状況

中小公庫下関支店

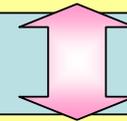
【担当窓口】
板野調査役
電話：0832-23-2251
FAX：0832-34-1447
E-mail：itano.t@jasme.go.jp



定期的な連絡会の開催

ITCY (ITCやまぐち協同組合)

【担当窓口】
谷口理事
電話：0833-74-0128
FAX：0833-72-1161
E-mail：tani@b-soltec.co.jp



【組織内情報共有】

理事会

例会

《経営革新と業務改革を考え実践するセミナー》

セミナーの目的は
戦略経営を推進する経営者育成

経営課題を認識する能力
経営革新を推進する能力
マネジメント(経営管理)能力
戦略的IT活用能力

戦略的経営者



自ら経営戦略を立案し
経営革新を実践する経営者

主催：やまぐちIT経営応援隊（山口県他）
後援：ちゅうごくIT経営応援隊、中国経済産業局
協力：中小企業金融公庫下関支店
中小公庫下関友の会
アイティコーディネータやまぐち協同組合

セミナーの特徴

参加者は実際のABC商事の経営幹部になったつもりで(疑似体験)課題の解決にチームで取り組みます。(数名1組のワークショップを中心に進行)
課題は6つ用意します

1. プロジェクトの立上げ
 2. 事業環境分析と改善革新テーマの選定
 3. ビジネスモデルの作成と収益性の確認
 4. 評価指標と目標値の設定
 5. 経営戦略企画書の作成と発表 提案能力・企画書の作成能力
 6. IT戦略の立案・IT戦略テーマとIT導入アクションプランの設定
- チーム全員がリーダー・記録者・発表者を順に体験します

リーダーシップ・プレゼンテーション能力・PPTの活用能力の向上
ITCによる説明 グループ討議 発表 全体討議 ITCによる解説
気づき・全員の合意形成・企業文化の醸成
ITCによる説明と解説の中で、経営者としての視点・考え方と各種マネジメント手法が自然に習得できます。

ITコーディネータとは (略称：ITC)

本格的な情報革命を迎え、企業が経営革新に取り組む際、「経営とITの橋渡し」役を担ったコンサルタントです。これは、1999年6月の通商産業省(現経済産業省)産業構造審議会情報産業部会の提言に基づき創設された資格制度で、政府のe-JAPAN重点計画において育成を目指しているITのプロフェッショナルです。(ITコーディネータ協会 URL:www.itc.or.jp)

研
修
の
概
要

【開催日時】 1日目 平成18年7月14日(金) 10:00～21:00(受付 9:30)
2日目 平成18年7月15日(土) 9:00～17:00(解散17:30)
3日目 平成18年7月29日(土) 13:00～18:00

【参加募集者数】 20社(25名程度)

【実施会場】

1,2日目 山口県セミナーパーク(山口市秋穂二島 1062)

3日目 新山口駅周辺ホテル(予定)

【セミナー内容】

- 1日目: 中小公庫支店長挨拶、
SWOT分析と経営革新テーマ選定
ビジネスモデルの作成、収益性確認
評価指標であるKGI、KPIの設定
- 2日目: 経営戦略企画書、IT戦略企画書
アクションプランの作成
- 3日目: 自社の経営戦略、IT戦略の発表(終了後懇親会開催)



【募集要項】

- 対象者 経営者又は情報化責任者(可能な限り3日間通して参加してください。)
- 募集定員 25名: 定員になり次第、締め切らせていただきます。締切: 7月7日(金)
(参加確定社には後日、事前に連絡をします)
- 申し込み 下記の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAX又はメールにて、下記事務局まで
お申込みください。
- 窓口 アイティコーディネータやまぐち協同組合事務局 (株式会社 常盤商会 内)
FAX(0836)32-2328 E-mail: itcy-info@siy.co.jp
TEL(0836)32-2377
- 参加料 参加料: テキスト代 5,000円(左記以外にセミナーパーク宿泊費等が必要となります。
なお、中小公庫下関友の会会員は、テキスト代は無料です。)
- 講師 アイティコーディネータやまぐち協同組合所属・ITコーディネータ

7月14日(金)から開催される「経営革新セミナー」に、参加を申し込みます。

FAX 番号 (0836) 32 - 2328

アイティコーディネータやまぐち協同組合 行き

事業所名	従業員数	名	所在地
TEL() -	FAX() -	e-mail	
参加者氏名(役職名)	()		
	()		
	()		

中小公庫下関支店とITCY コラボレーションの進め方



ITCにご相談ください!

みなさんの、ITのお悩みを解決していくのがITC(アイティコーディネータ)です。

ITを取り入れたい!でも、どう取り入れたらいいのだろうか?

ITを取り入れたけどいまいち成果があらわれないなあ...

おれかアドバイスしてくれたらなあ...



ITCってなに?

ITC...アイティコーディネータ
(Information Technology Coordinator)

経営者の立場に立って経営とITを橋渡しし、更に経営に役立つIT投資を推進・支援するプロフェッショナルです。ITコーディネータ資格認定制度は、ITコーディネータの実務を含めた能力をITコーディネータ協会が認定する資格認定制度です。

- ITCやまぐちコンセプト
- ITCという人材とは
- ご提供できるサービス
- ITCやまぐち 最近の活動
- ITCやまぐち 活動履歴
- ITCやまぐち会員
- リンク
- お問い合わせメール

TOPICS

- ITCやまぐち活動履歴ページを 更新いたしました。(2006/3/31)
- リンクページを 更新いたしました。(2006/3/31)
- ITCやまぐち会員ページを 更新いたしました。(2005/9/21)
- ITCやまぐちのメールアドレスマガジンを配信しています。
『ITCやまぐち』のメールアドレス! (ID:0000160301)

下のフォームに配信(解除)を希望されるメールアドレスを入力して
送信(解除)ボタンを押してください。

登録フォーム 登録 解除フォーム 解除

まぐち ITCやまぐち! 助成金助成しています。

- ITCやまぐち協同組合の活動履歴は、こちらからご覧いただけます。
- ITCやまぐち協同組合へのお問い合わせやご質問は、こちらからお断りいたします。
- POA(ITコーディネータ協会)のホームページはこちらです。



Sponsored by Yama-guchi

平成18年5月15日

ITコーディネータやまぐち協同組合

contents

【ITCYの紹介と提案】

1. ITコーディネータやまぐち(協)の概要と活動実績
2. 全体のスキーム(名古屋銀行の事例)
3. 企業の発掘(セミナー、経営者研修、成熟度診断)
4. 企業の個別相談: 専門家派遣のケース
5. コンサルティングおよび情報化投資

【検討および決定事項】

1. ITCYの活動紹介に対する質問
2. 中小公庫とITCYの連携スキームについて(覚書の必要性)
3. 中小公庫下関支店「経営改革編」研修会
4. 専門家派遣の進め方について
5. その他

1. ITコーディネータやまぐち(協)の概要と活動実績

1.1 沿革

設立:平成14年9月26日

組合員数:16名

所在地 〒755-0044 山口県宇部市新町12-1 (株式会社 常盤紹介内)

代表者氏名:石田 豊 事務局代表者:植村 育夫

連絡先:TEL 0836-32-2377 FAX 0836-32-2328

1.2 平成17年度の活動実績

IT経営応援隊関連セミナー事業(越後湯沢温泉組合事例紹介他4回)

IPA経営者研修事業(山銀ベンチャーフォーラム他3回)

個別コンサルティング(経営成熟度診断8件、専門家派遣等)

組合員研修(ITCカンファレンス参加、毎月の例会での研修)

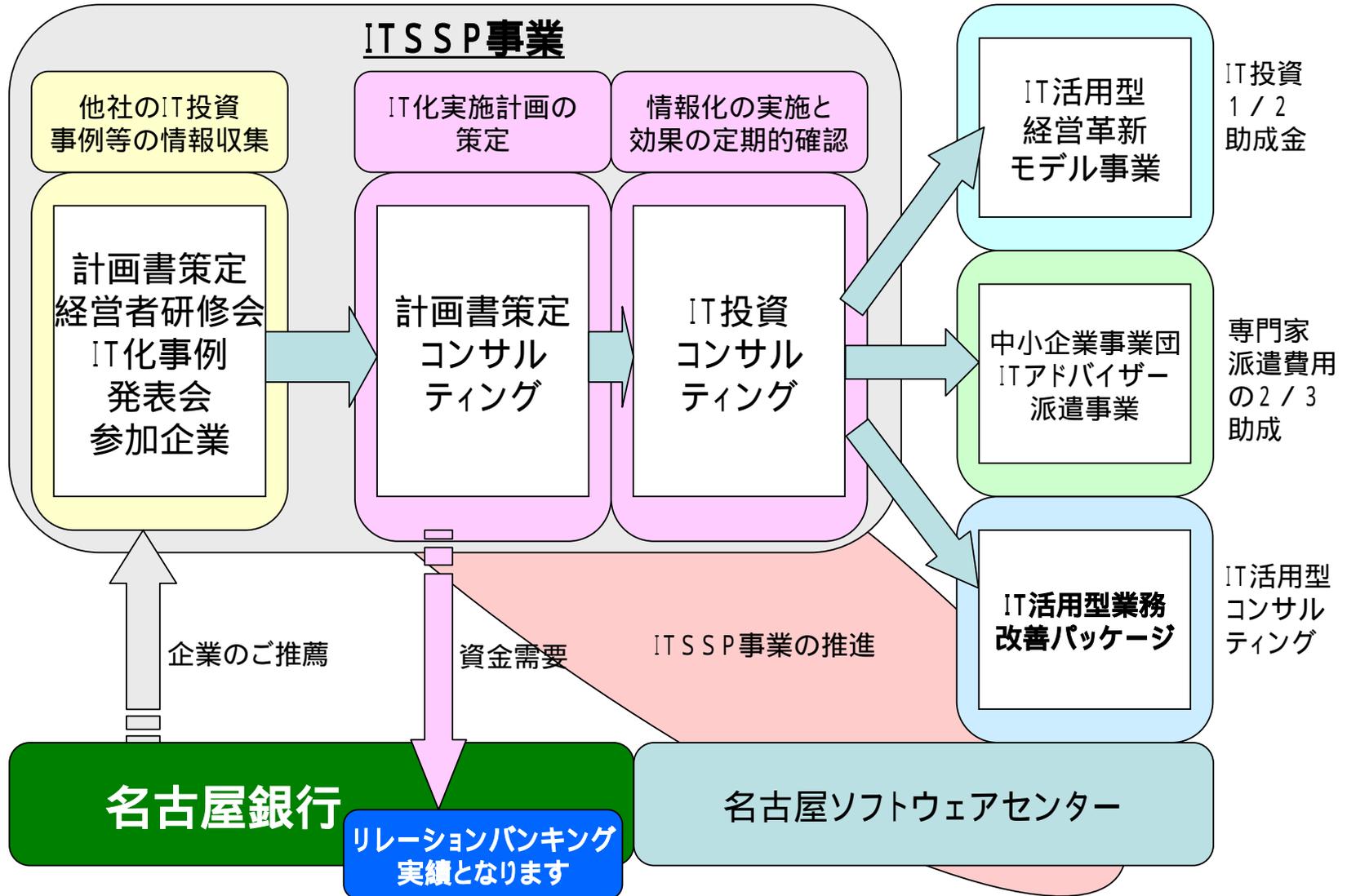
1.3 平成18年度の活動方針

IT経営応援隊、金融機関との更なる連携

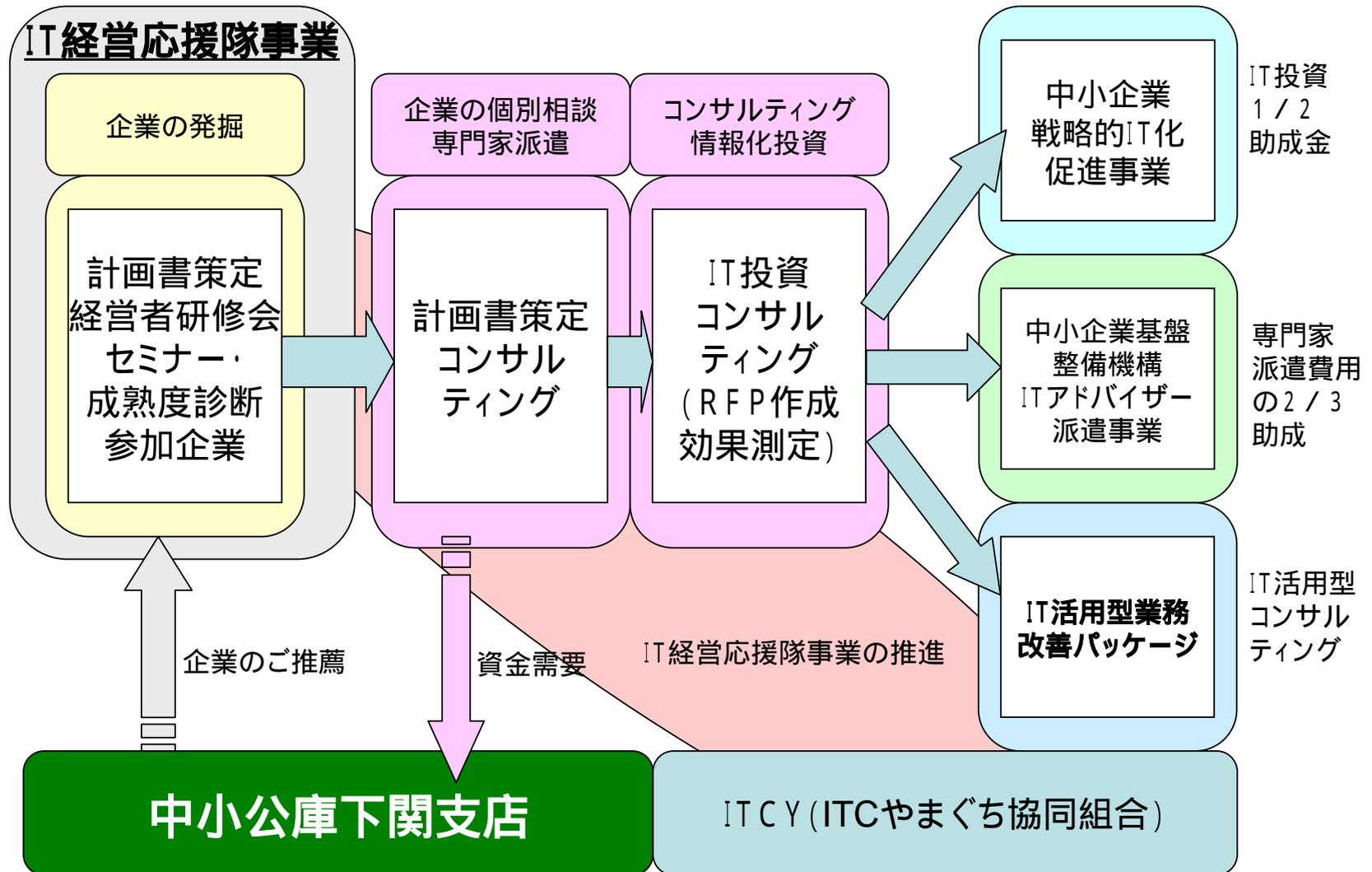
IT経営モデル企業の創出

詳しくは、ITコーディネータやまぐち「新組合員加入マニュアル」「平成18年度の活動方針」「ITC紹介」「自治体事例」を参照願います。

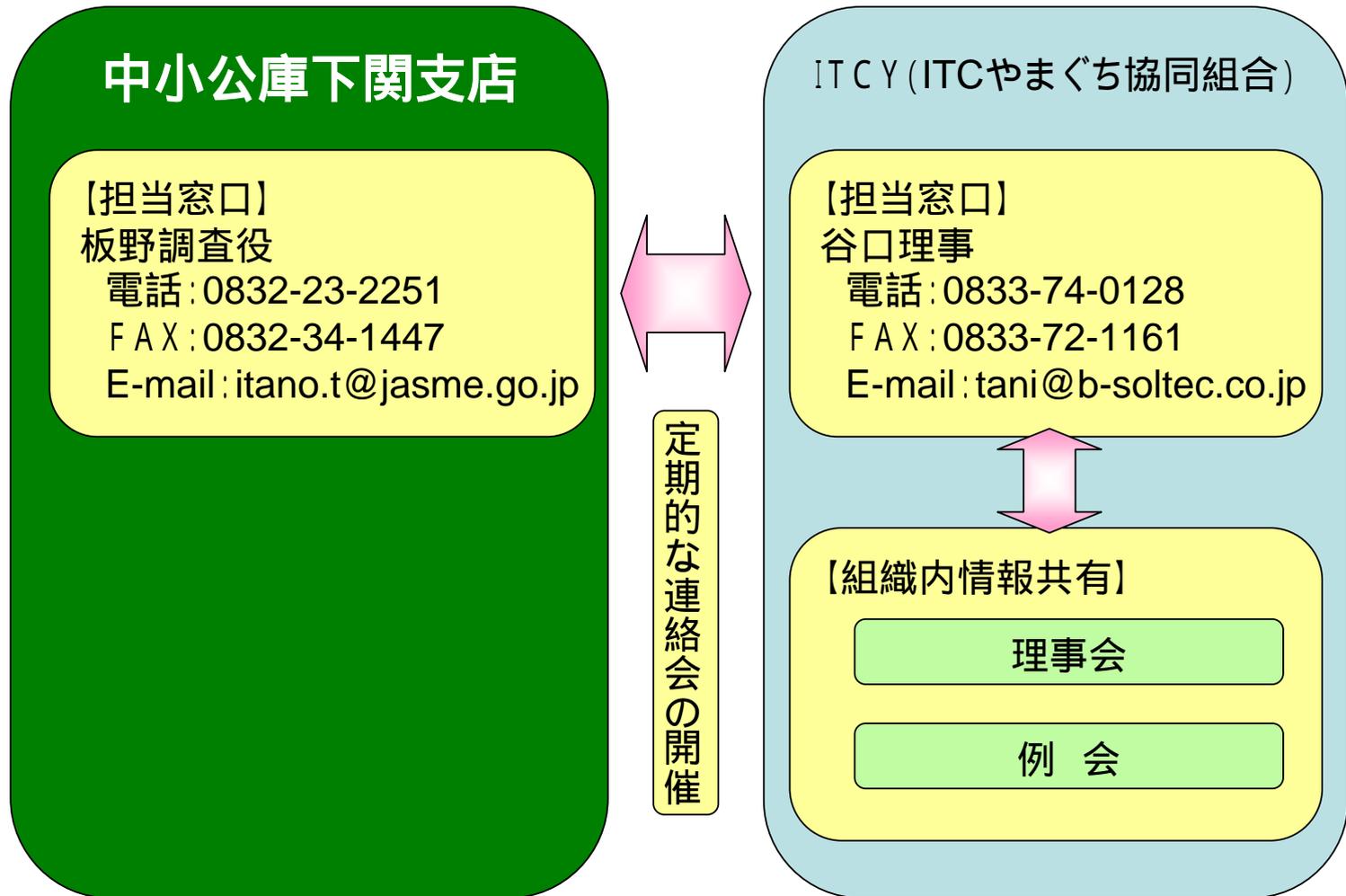
2. 全体のスキーム(名古屋銀行の事例)



2.1 中小公庫下関支店とITCYの連携スキーム



2.2 中小公庫下関支店とITCYの連携体制



事業の進め方に関する「覚書(案)」を準備しています。

2.3 ITコーディネータやまぐちターゲット企業フェース

業種	製造業、観光関連業、運送業 (IT化が売上やコスト削減、「見える化」による経営革新効果が顕著に発揮できるケースが多い。)	
従業員規模	30人以上	これ以下のケースでは、コンサルティング費用の捻出、円滑な情報化投資は難しい
売上高	(年商)10億円以上	
経営状況	経常黒字、自己資本比率+	
IT環境他	リース空け(融資完済)に近い 前回システム投資が失敗もしくは不満足 システム企画専任者がいない LANやインターネットなど全社的な情報共有が未整備	

上記に満たない企業の支援はしない、ということではありません。

3. 企業の発掘(セミナー、経営者研修、成熟度診断)

3.1 平成18年度実施セミナー

3.1.1 運輸業におけるIT利活用セミナー

実施時期	平成18年10月(予定)
実施予定会場	山口県トラック協会
参加予定者数	20人
セミナー内容	活動基準原価計算の手法を学び、輸送効率の向上のための一助とする。

3.1.2 湯本温泉におけるIT利活用セミナー

実施時期	平成18年 8月(予定)
実施予定会場	湯本温泉旅館組合
参加予定者数	20名
セミナー内容	観光業界の全国他地域での成功事例を学び、県内各地での取り組みを支援する

3. 企業の発掘(セミナー、経営者研修、成熟度診断)

3.2 平成18年度実施経営者研修

3.2.1 湯本温泉旅館組合青年部向け経営戦略立案研修会

実施時期 平成18年 8月(予定)

実施予定会場 湯本温泉旅館組合

参加予定者数 20名

セミナー内容 3日間の経営者向け研修会を通じて経営革新の手法を学び、自館及び地域のランドデザインを描く。

3. 企業の発掘(セミナー、経営者研修、成熟度診断)

3.2 平成18年度実施経営者研修

3.2.2 中小公庫下関支店「経営改革編」研修会

日程等は仮置きです。

実施時期 平成18年7月12日、19日、26日、8月2日
(毎週水曜日13時～19時 6時間 4日間)

参加予定者数 10社～15社(20名程度)

実施予定会場 新山口駅周辺(山口グランドホテル)

セミナー内容 1日目:支店長挨拶、SWOT分析と改革テーマ選定
2日目:ビジネスモデルの作成、KGI、KPIの設定
3日目:経営戦略企画書、IT戦略企画書作成
4日目:自社の経営戦略、IT戦略の発表
(4日目終了後懇親会開催)

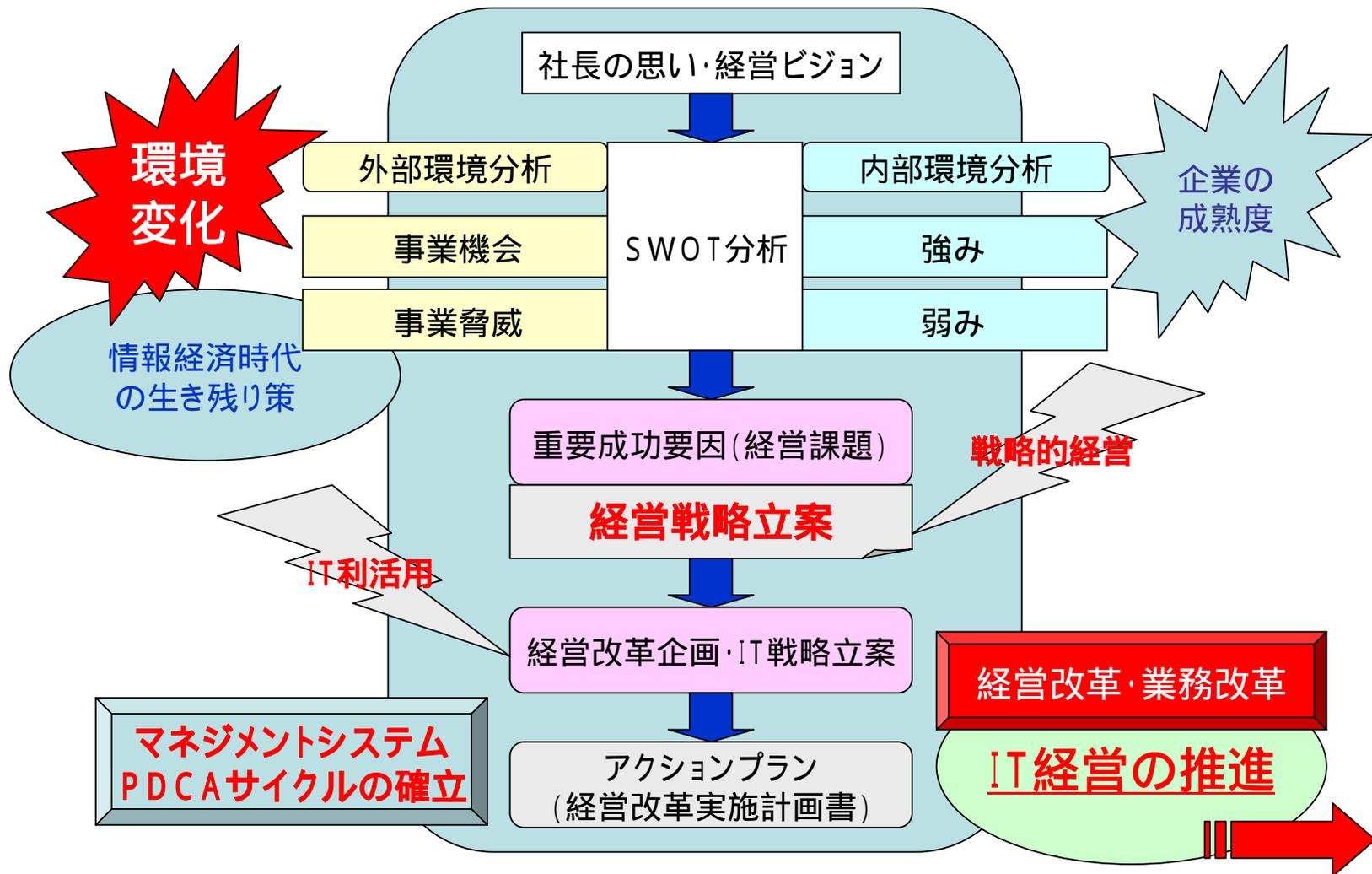
受講者参加費 5,000円(教材費、コーヒー代)

セミナー終了後、専門家派遣等を活用し3社
人材育成等個別コンサル2社

「募集案内」を参照願います。

「経営改革編」研修会の概要

IT経営とは、経営改革・業務改革をIT活用により実現することです



「経営改革編」研修会の進め方と狙い

参加者は実際のABC商事の経営幹部になったつもりで(疑似体験)課題の解決にチームで取り組みます **チームワーク・グループ討議による合意形成
気づき・コミュニケーション・ネゴシエーション**

課題は6つ用意します

1. プロジェクトの立上げ
2. 事業環境分析と改善改革テーマの選定
3. ビジネスモデルの作成と収益性の確認
4. 評価指標と目標値の設定
5. 経営戦略企画書の作成と発表 **提案能力・企画書の作成能力**
6. IT戦略の立案・IT戦略テーマとIT導入アクションプランの設定

各課題ごとにグループメンバー内でリーダー・記録者・発表者をきめます
(チーム全員がリーダー・記録者・発表者を順に体験します)

リーダーシップ・プレゼンテーション能力・PPTの活用能力
ITCによる説明 グループ討議 発表 全体討議 ITCによる解説
気づき・全員の合意形成・企業文化の醸成
ITCによる説明と解説の中で、経営者としての視点・考え方と各種マネジメント手法が自然に習得できるように工夫します

マネジメント手法・マネジメント能力

「経営改革編」研修会のスケジュール

「IPA報告書」を参照願います。

	1日目	2日目	3日目	4日目
13:00	1. オリエンテーション 2. 経営戦略とは ケース企業の理解 3. 課題1 プロジェクトの立上げ	1. バランス・スコアカード 2. 企業の成熟度 3. 課題3 ビジネスモデルの作成 と収益性の確認	1. プレゼンテーション 2. 課題5 経営戦略企画書 の作成と発表	1. 自社の経営戦略企 画・IT戦略企画
14:00	4. グループ討議 5. 発表資料づくり 6. 発表・質問	4. グループ討議 5. 発表資料づくり 6. 発表・質問	3. グループ討議 4. 発表資料づくり 5. 発表・質問 6. 全体討議	2. 自社の経営戦略企 画書・IT戦略企画書 の作成 (個人作業)
15:00	7. 全体討議・解説 8. 事業ドメイン 業界特性分析 SWOT分析	7. 全体討議・解説 8. モニタリング 9. チェンジマネジメント	7. 情報技術の動向 8. 経営改革企画と IT戦略企画	3. 発表・質問
16:00	9. 課題2 事業環境分析と 改善改革テーマの選定	10. 課題4 評価指標と目標値の 設定	9. 課題6 IT戦略の立案 IT戦略テーマと IT導入アクションプラン の設定	
17:00	10. グループ討議 11. 発表資料づくり	11. グループ討議 12. 発表資料づくり	10. グループ討議 11. 発表資料づくり	4. 全体討議・解説
18:00	12. 発表・質問 13. 全体討議・解説	13. 発表・質問 14. 全体討議・解説	12. 発表・質問 13. 全体討議・解説	
19:00	14. 本日のまとめ	15. 本日のまとめ	14. 本日のまとめ	5. 全体のまとめ

3. 企業の発掘(セミナー、経営者研修、成熟度診断)

実施有無、日程等は
仮置きです。

3.2 平成18年度実施経営者研修

3.2.2 中小公庫下関支店「経営改革編」研修会の参加企業を募るにあたって

中小公庫スタッフの皆さんへの事前研修の実施について

実施時期	平成18年6月 日(午後13時～15時)
参加予定者数	自由
実施予定会場	中小公庫下関支店
セミナー内容	1時間:事前研修の目的(中小公庫さんから) ITCおよびITCYの活動内容 2時間:経営者研修「経営改革編」の概要と成果物 1時間:質疑応答
受講者参加費	無料

その他、関心のあるテーマがありましたら講師等を手配します。

3. 企業の発掘(セミナー、経営者研修、成熟度診断)

3.3 平成18年度実施成熟度診断

個別企業IT 成熟度診断事業(5社)

【予定対象企業】

運輸業 1社

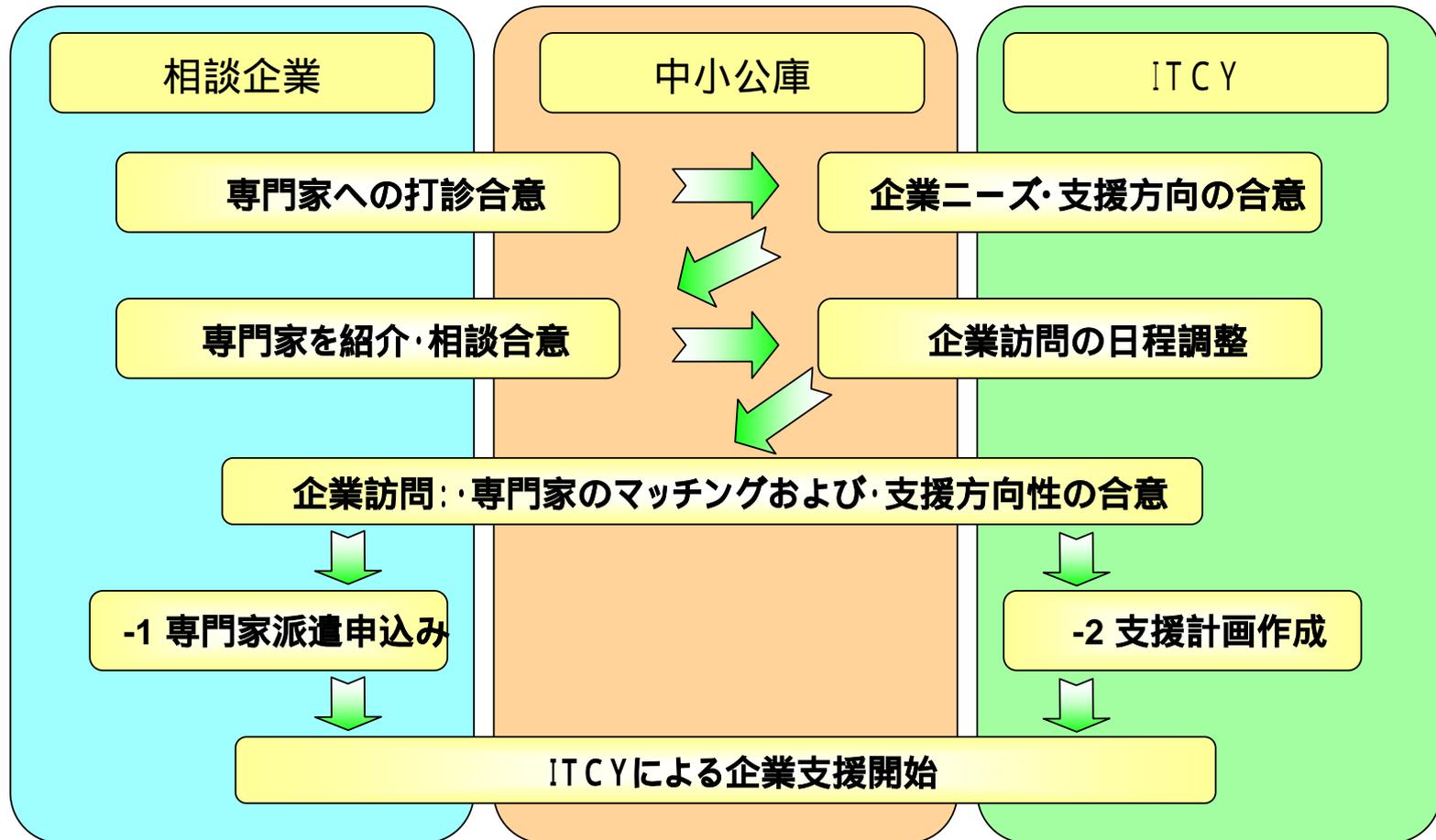
湯本温泉旅館組合青年部 2社

中小公庫下関支店 2社

詳しくは、成熟度診断報告書を参照願います。

4. 企業の個別相談：専門家派遣のケース

4.1 専門家派遣フローおよび役割



-2 支援計画は、事例を参照願います。

5. コンサルティングおよび情報化投資

5.1 RFP作成支援

5.1.1 RFP作成の目的

RFPとは、必要とするハードウェアやソフトウェア、サービスなどのシステムの概要や、依頼事項、保証用件、契約事項などが記述した文書。ベンダはこれをもとに提案書を作成する。ユーザは複数のベンダの提案書を評価表で基準に従い評価し、最も優れた提案内容のベンダと契約を締結、ハードウェアやソフトウェア等を調達する。

これまで情報システム業界では、口約束やあいまいな発注による開発現場の混乱や紛争の発生、納期の遅れやシステム障害などに悩まされてきた。RFPにより調達条件や契約内容を明らかにしておくことで、こうした混乱を未然に防ぎ、高品質・低価格な調達が可能となる。

5.1.2 ITCYの役割

RFP作成支援: ひながた提供、記載内容に対するアドバイス

(ITCYが作成を受託する場合は、1件につき30万円の費用が必要となります。)

ベンダーへのRFP配付支援

該当するベンダーの洗い出しおよび絞込みのアドバイス

ベンダー選定支援

ベンダの提案書に対する評価表および評価基準の提供、参加ベンダへの連絡方法

詳しくは、RFP事例を参照願います。

5. コンサルティングおよび情報化投資

5.2 中小企業戦略的IT化促進事業応募支援

5.2.1 補助事業応募支援の目的

経済産業省が実施する標記の事業のほか、山口県では経営革新計画の承認を受けた企業を対象に「中小企業成長育成支援補助金」を実施し、中小企業のIT化を支援している。

こうした事業に応募することで、実施目的が明確となり、より高い投資効果を期待することができる。

5.2.2 ITCYの役割

補助事業情報の提供

申請書記入に対するアドバイス

(ITCYが作成を代行する場合は、1件につき30万円の費用が必要となります。)

詳しくは、申請書事例を参照願います。

5. コンサルティングおよび情報化投資

5.3 情報化投資支援

5.3.1 情報化投資支援の目的

情報化投資は、経営改革と並行して行なわなければ大きな成果は得られません。また、社内の通常業務を進めながらシステムを切り替えるには現場に多大な負荷が生じるほか、情報化投資には多額の資金調達が必要となり、これらを統括するプロジェクトとして進める必要があります。

5.3.2 ITCYの役割

ベンダーとの契約: 曖昧なまま発注しては、納期や品質面でトラブルが生じた際、責任の所在が不明確となります。こうした事態を避けるため、JISAのモデル契約書をベースに契約内容のアドバイスをします。

プロジェクト管理: ベンダから提出された開発計画およびレビュー計画や成果物をチェックし、開発が計画通り進むように支援します。

機能の評価・検証: 基本設計書、仕様書どおりのシステムが構築されているかの動作確認、ブラックボックステスト。また、経営改革目標の達成状況の評価・検証を行う。

詳しくは、ベンダー契約事例を参照願います。